人文知で読み解く東アジア

令和8年度富山大学人文学部公開セミナー県民カレッジ連携講座

＊この講座をすべて受講した方には、希望により修了証明書（修了単位シール）が交付され、県民カレッジの単位（10単位）が認定されます。

「古き東アジアへの旅 ―日本・中国・朝鮮」

言葉と文献を通じて古き東アジアを一緒に旅しませんか。
日本語学、中国語学、中国史学、朝鮮文学、日本文学、
各分野を専門とする人文学部教員が道案内します。

受講料 無料
高校生・大学生も歓迎です。

人文学部で続けてきた公開研究会コレギウムを県民カレッジ連携講座として刷新しました。
2時間のうち30分間を受講生のみなさんとの対話の時間とします。

全6回、すべて「富山大学五福キャンパス人文学部棟」での開講です。

第1回 10月31日（土）13時30分～15時30分　川島 拓馬［日本語学］
日本語のバリエーションとその歴史

第2回 11月7日（土）13時30分～15時30分　森賀一惠［中国語学］
甲骨文字のはなし

第3回 11月21日（土）13時30分～15時30分　林 美希［中国史学］
『大唐創業起居注』の史料的性格について

第4回 12月5日（土）13時30分～15時30分　和田 とも美［朝鮮文学］
作家になった植民者の子どもたち ―湯浅克衛と森崎和江の作品を通じて見る植民地朝鮮の風景

第5回 12月19日（土）13時30分～15時30分　田部 知季［日本文学］
明治時代の俳句と富山―河東碧梧桐の足跡を辿りつつ

第6回（開催日と講師の詳細はセミナー開始後にお知らせします）
東アジアの中の日本古典文学（聞き手　田部知季　和田とも美）

参加のお申し込みはこちら https://forms.office.com/r/CC1hexK9gy
県民カレッジマイページからもお申込み可能です。当日参加も歓迎いたします。

お問い合わせ先：富山大学人社系総務課（人文学部担当）　〒930-8555 富山市五福 3190　TEL 076-445-6131　FAX 076-445-6141

第1回

日時：10月31日（土） 13時30分～15時30分　**講師：**川島 拓馬［日本語学］

講義題目：日本語のバリエーションとその歴史

内容：日本語は1300年あまりの長い歴史をたどることのできる言語ですが、決して一本の線で過去から現在までつながっているわけではありません。時と場合によって使い分けられることば、地域によって異なる姿を見せることば。そうした多種多様な特徴を持った「ことば」が複雑に折り重なることで日本語の豊かさを形作っています。本講座では、日本語の歴史に見られる様々な側面について、残された興味深い資料をもとに考えてみたいと思います。

第2回

日時：11月7日（土） 13時30分～15時30分　**講師：**森賀 一惠［中国語学］

講義題目：甲骨文字のはなし

内容：甲骨文字とは中国殷後期から周初にかけて占いに使われた獣骨や亀甲に刻まれた文字の総称です。中には象形文字であることが明らかな絵のような文字もありますが、言語を書き表すことのできる相当発達した段階の文字体系です。本講座では、名前は聞いたことがあるけれど、詳しくは知らないという方が多いと思われる甲骨文字について、少しお話し致します。

第3回

日時：11月21日（土） 13時30分～15時30分　**講師：**林 美希［中国史学］

講義題目：『大唐創業起居注』の史料的性格について

内容：中国唐王朝の第二代皇帝太宗（李世民）といえば名君として知られていますが、実は「玄武門の変」というクーデタで兄弟を殺害し父帝・高祖（李淵）を幽閉して即位した、後ろ暗い過去の持ち主でもあります。そのため、太宗は即位後、歴史書を意図的に書き換え、「優秀な息子」そして「聡明な君主」としてのイメージを作り上げることに腐心しました。本講座では『大唐創業起居注』という史料を取り上げて、史料成立の歴史的背景と、李淵・李世民親子の実像に迫ってみたいと思います。

第4回

日時：12月5日（土） 13時30分～15時30分　**講師：**和田 とも美［朝鮮文学］

講義題目：作家になった植民者の子どもたち
―湯浅克衛と森崎和江の作品を通じて見る植民地朝鮮の風景

内容：親世代の朝鮮半島入植に同行し、植民者の子どもとして朝鮮の人々と接し、成長して作家になった日本人として湯浅克衛や森崎和江がいます。かれらは自らの植民地経験を文学作品として発表することで、植民者の子どもとしての自己を見つめ続けました。その作品を通じて、植民者の子どもたちに見えていた朝鮮半島の風景を思い描きます。

第5回

日時：12月19日（土） 13時30分～15時30分　**講師：**田部 知季［日本文学］

講義題目：明治時代の俳句と富山―河東碧梧桐の足跡を辿りつつ

内容：明治30（1897）年、近代俳句の礎を築いた正岡子規の後輩、河東碧梧桐が北陸を旅行しました。それを機に、高岡の寺野守水老や筏井竹の門らによる俳句結社、越友会が結成されます。子規没後、碧梧桐は全国行脚を通じて新傾向俳句を世に広めますが、明治42（1909）年にはその途中で富山を訪れ、越友会の面々と旧交を温めています。本講座では碧梧桐の足跡を辿りつつ、実際に当時の俳誌や新聞を繙くことで、近代俳句と富山の関わりを探っていきます。

第6回

講義題目：東アジアの中の日本古典文学（聞き手　田部知季　和田とも美）

（開催日と講師の詳細はセミナー開始後にお知らせします）

内容：富山大学外から日本文学の研究者を講師にお迎えして、若い世代から見た最新の日本古典文学研究についてお話をお伺いします。

富山大学内会場案内図

会場：富山大学人文学部

問い合わせ先・申込先

富山大学人社系総務課（人文学部担当）

〒930-8555 富山市五福 3190

TEL 076-445-6131　FAX 076-445-6141

できるだけ公共交通機関をご利用くださるようお願いします。

リサイクル適性Ⓐ